台東区と歌舞伎

歌舞伎は、音楽、踊り、芝居がひとつになった400年以上の歴史をもつ日本の伝統芸能です。浅草猿若町は天保13年（1842）年に成立した芝居町で、現在の浅草六丁目にありました。天保の改革の一つとして、現在の中央区にあった芝居小屋や関係者が移ってきて、幕末から明治前期にかけて栄えました。浅草寺や隅田川は歌舞伎の舞台にもなっています。

若手花形俳優の登竜門『新春浅草歌舞伎』は、40年以上浅草の地で愛され続けており、浅草の街には歌舞伎に関連するスポットが沢山あります。

今年の大河ドラマ「べらぼう」の主人公・蔦屋重三郎は役者絵を発行し、歌舞伎役者の人気上昇にも貢献したという一説があります。

「隈取」とは

歌舞伎で特徴的なお化粧の方法で、役柄によって色や線の描き方が変わります。赤い隈取は正義のヒーロー、青い隈取は悪人、茶色い隈取は人間以外の妖怪や鬼を表していると覚えておけば、さらに歌舞伎のお芝居を楽しめます。

（歌舞伎公式総合サイト　歌舞伎美人HPより）

会場案内図

台東区民会館（台東区花川戸2-6-5）

- ●東武スカイツリーライン　浅草駅　徒歩5分
- ●東京メトロ銀座線　浅草駅　徒歩5分
- ●都営地下鉄浅草線　浅草駅　徒歩8分
- ●つくばエクスプレス　浅草駅　徒歩9分
- ●都営バス　二天門停留所　下車すぐ
- ●台東区循環バス“めぐりん”
  - ・北めぐりん（浅草回り）　二天門停留所　下車すぐ
  - ・ぐるーりめぐりん　花川戸停留所下車徒歩3分